

新宮山彦ぐるーぷ第1959回
行仙宿等の迎春準備など

◇実施日；2017年12月23日(土・祝) 快晴、気温4℃。
◇参加者；川島 功、児嶋道夫、濱野兼吉、沖崎吉信、生熊敏男
大江加予子、畑林清子、山川治雄、奥村順夫、竹中
卓治、高階美根子、乾 克己、梶野照雄。 13名。

6時20分に家を出る。R169に積雪はなかったが、橋梁部分には凍結があり、橋の手前で減速を繰り返しながら南下した。
9時02分に浦向の三差路に到着すると、乾、奥村車が待ち受けていた。2台の後ろに車を止めて談笑していると川島車(児嶋・大江・畑林)、少し遅れて沖崎車(生熊・濱野・山川)が到着。
登山口までの路面凍結等の状況がわからないので、ノーマルタイヤの奥村車は、浦向集会場に駐車して乾・梶野車に分乗し、4台で登山口に向かった。

R425・四ノ川林道ともに積雪や凍結は無し。林道には土石が入れられ、きれいに均されていた。
9時35分登山口に到着、側溝には僅かに雪が残っていた。



浦向で待合せ



登山口で各自が身支度



児嶋さんがモノレールを降ろして下さる。荷台に荷物(沖崎調達の薪4束・5Lガソリン缶・チェンソー・注連飾り・ザック等)を満載して児嶋さんが運転、他の者は歩いて登る。
登山口水場で生熊さん作製の注連縄に交換。水場のパイプからは水が出ておらず、水流はあるが大変少なくなっていて、濱野さんが調整してくださった。



登山口水場の注連縄張替え

水の流れ調整後

モノレール終点で荷物を受け取り、女性陣を先頭に上り始めた。先週と違って気温が高いが、第二ベンチ迄の日陰には大きな霜柱が見られた。快晴・無風の穏やかな天候で、上着を脱いで汗をかかないようにゆっくりと歩いた。

児嶋さんは、登山道に積もった落葉を持参の竹製熊手で除けながら登られ、後続の者は路面が見えるようになった登山道を、安心して歩くことができた。10時35分に行仙宿に到着。

山川・梶野両名は、発電機を動かし、新規備品購入のブロワーを使って小屋周りの落葉を掃除した。

特に東側の栈木材を積んでいる所には、約10cmの厚さに落葉が積もっていたので、一部の材を移動して念入りに吹き飛ばした。

「小屋の外壁に接して物を置くな！」と、木下棟梁にお叱りを受けていたので、小屋周り(薪置き場を除く)に接していた物は、す

べて無くすことに重点を置いた。ブロワーを使ったの作業は「時間で終了、非常に綺麗になった。」



陽ざしを浴びる行者堂

ブロワーで落葉清掃後

水場の注連縄張替には、川島・生熊・竹中・濱野・乾氏が注連縄と備付ける注ぎ口口径が大きいアルミ上戸を持って降りられる。水場の水は流れていないが、沢山の落葉の漂う水が溜り、一昨日から冬型が緩んだので氷が張っていなかった。注連縄を取替えてから、行平鍋で主に落葉が漂う水を汲み出し底浚えして来たとのこと。



行仙宿水場の注連縄張替えと水場の底浚え

児嶋さんは、水場径の下部の階段上の地点迄(略8割)、落葉を綺麗に除けて下さり、滑る事もなく歩き易い径になった。本当にご苦労さん。

女性陣3人は、宿内の整理整頓と行者堂内を清掃して、聖徳太子像・役行者像に鏡餅・お神酒・お供え菓子を取替えて下さる。

行仙宿・行者堂・管理棟内の迎春準備(鏡餅・お酒・カレンダー取替え)並びに玄関の注連飾りが付けられ、水場の注連縄取替え班も戻ってきたので、11時40分頃から全員で昼食。



行仙宿の注連飾り



管理棟の注連飾り



宿内の鏡餅とお神酒

本年度の締め括りの行事であり、乾さん差し入れの桜井市の地酒「どうのみね」とビールで「一年間の労苦を労って」乾杯。高階さんからは、七輪に炭を入れて焼いた「カマス干物」が差し入れされ、焼きたてを美味しく頂いた。蕪千枚漬け等の差し入れもあり、ストーブに火が入り暖かく賑やかに談笑しながら、くつろいだ昼食になる。児嶋さんからコーヒ・银杏を焼いて振舞って下さる。



ストーブの暖で昼食時の賑やかに談笑



会話がはずむ



宿内の迎春飾り



本日の作業者

昼食後は、東大総長からの感謝状を小屋内の賞状の並びに掲示する。

行者堂で本年最後の勤行を生熊さん導師で行い、この一年と新年度の無事故とご健勝等を各々が祈願して、13時45分以下山を始めた。



感謝状の宿内掲示



行者堂で勤行！



ゴミ等を担ぎ下ろす

14時25に分登山口に到着し、川島代表から本年のご支援ご協力への感謝と新春登山の案内等の挨拶があり解散となった。



登山口に下山



最後の終礼！



登山口の解散前

川島車を先頭に、沖崎、梶野、乾車と続いて走り出し、20分程下ったヘアピンカーブ地点から川沿いの道に下った地点で、沖崎車が突然右に寄って停止した。前に回って見ると右前輪がパンクしている。ホイールにも傷があり、タイヤサイドが切れていた。応急タイヤが在るのでジャツ

キアッブして交換するだけの作業だが、付属の21mmホイールレンチの径が合わずナットが緩まない。6本のナットの内2本だけ乾さんが奮闘して何とか緩め、外してみると19mmのナットである。

19mmのナットプラグが在ったはずと、スペアタイヤなどを降ろして、あちこち捜して19mmのプラグを見つける。

先行した川島車も心配して戻ってこられ、経過説明と共にタイヤ交換も終了して、浦向の三差路までゆっくり走行。浦向で再度ナットを締め直すという思わぬハプニングがあったが、大事に至らずに一安心し、それぞれが帰途についた。

皆さんもノーマルタイヤとスタッドレスタイヤのホイールナット径が異なっていないか確認して、合ったレンチを備えて下さい。

行動タイム

浦向 9:10→9:35 行仙宿登山口 9:45→10:35 行仙宿↓作業↓
11:45 昼食 13:10→行仙宿 13:45→14:25 行仙宿登山口 14:40→浦向 15:30(解散)。

備品購入と寄贈品

- ・新規購入備品；マキタ製ブロワー(600W、風量4.1³m³/分)。
- ・寄贈；児嶋道夫・竹製熊手1本。

(記；梶野)

追伸 最後に、本年の南奥駈道の保守・維持等の奉仕活動53回の行事実施に際して、皆様のご支援ご協力を頂き無事終える事が出来、厚く御礼を申し上げます。

新年度は、南奥駈道の点検整備作業等には、台風21号の影響により例年以上の労力が必要になります。皆様方の一層のご支援ご協力の程お願い申し上げますと共に、ご健勝で、ご活躍されることを心より祈念申し上げます。

(川島)